

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	重症児・者福祉医療施設ソレイユ川崎 放課後等デイサービス		
○保護者評価実施期間	令和8年3月20日		令和8年3月30日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	4 (回答者数)	4
○従業者評価実施期間	令和8年3月20日		令和8年3月30日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	11 (回答者数)	11
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年3月31日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	施設内の訪問看護や短期入所を利用されている方がいる	<ul style="list-style-type: none"> ・訪問看護の職員と情報共有をこまめにとることで、お互いにご本人やご家族のことを把握して適切な支援を提供できるようになっている。 ・放課後等デイサービスを体調不良で欠席しても訪問看護のときの様子を聞くことができ、放課後等デイサービス利用時の体調管理で重要な情報源となっている。 ・短期入所の時は日中の様子を伝えたり、夜間の様子を教えてもらったりお互い情報共有している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ご本人やご家族に変化が起きた時などは一緒にミーティングすることができるという。
2	多機能型なので、児童発達支援を利用していた方がそのまま利用することができる。	<ul style="list-style-type: none"> ・慣れるまでは児童発達支援で関わっていた職員が紹介しながらコミュニケーションをとることで安心して過ごせるようにしている。 ・児童発達支援を利用していた時の情報を共有し、その方それぞれのコミュニケーションの取り方や体調についてなど細かいところまで引継ぎができ、いつでも聞くことができている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・就学の少し前になったら放課後等デイサービスの職員は児童発達支援利用中の様子を見れる機会を増やしていいけるといい。
3	医療的ケアのある重症心身障害の方で超重症児にあたる方も受け入れている	<ul style="list-style-type: none"> ・体調の変化が大きいのでは職員間同士利用中の様子でお互い気付いたことはその場で共有している。 ・医療ケアにかかる時間が多くても活動で何ができるか、楽しめるかなどをご本人に確認しながら探っている。 ・保護者との連携をこまめにとることで、ご本人もご家族も安心して利用できるようにしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・同じ曜日に医療度が高い方を多く受け入れることができないので、受け入れ態勢の工夫を検討していきたい。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	受け入れるのは一つの学校に通っている方に限られてしまう。	<ul style="list-style-type: none"> ・下校時刻に合わせて学校にいくつもお迎えに回ると時間が遅くなってしまうため一つに限定している。 ・学校へのお迎えの時間に生活介護の方が帰宅のために送迎車を使うので車や運転手などの限りがある。 	<ul style="list-style-type: none"> 今ある課題は通所だけでなく施設全体に関わってくる部分もあるので、解決策として何かあるのかを全体で考える機会を持ってほしい。
2	医療的ケアのある重症心身障害児で、身体的にも成長期のため体調の変化などが多く、安全を考慮すると定員数より少ない人数しか受け入れができない。	<ul style="list-style-type: none"> ・医療行為が必要のため看護師が必須であり、送迎車内でも医療行為をすることを考慮すると対応できる人数に限りが出てしまう。 ・成長過程で医療度が高くなっていくことが多い。 	<ul style="list-style-type: none"> ・利用する方の組み合わせや曜日の変更を検討する。 ・看護師のスキル向上を図る。
3			

従業員向け

放課後等デイサービス評価表

○ 本評価表は、放課後等デイサービスに従事する従業員の方に、事業所の自己評価していただくものです。

「はい」又は「いいえ」のどちらかに○を記入するとともに、従業員の視点で、「事業所が工夫していると思う点」や「改善が必要だと思われる点」などについて記入してください。

	チェック項目	はい	いいえ	工夫していると思う点・改善が必要だと思われる点など
環境・体制整備	1 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	○		利用定員5名に対し適切な広さ、空間を確保している。
	2 利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	○		利用定員5名で医療的ケアのあるお子さんに対し適切な人員配置をしている。
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	○		活動と休憩ではメリハリがつくような環境を整えることで、こどもにわかりやすいようにしている。また、施設内はバリアフリーになっている。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	○		使用後に除菌し、フロアは業者の清掃が入ることで清潔で心地よい空間が保てている。
	5 必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	○		カーテンで仕切るなどして必要に応じて個別な空間を使用できる。
業務改善	6 業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	○		業務改善のためのPDCAサイクルは各職員が個人目標に上げ、実施している。
	7 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		保護者の評価は好意的なご意見をいただくことが多かったが、その内容を継続していけるように業務に反映させるようにしている。
	8 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		日常的に気づいたことを職員間で話すようにし、業務改善につなげている。
	9 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	○		令和7年度での第三者評価では業務で継続していくべき点と課題点を抽出し、勉強会などを実施している。
	10 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	○		法人研修では新人研修、フォローアップ研修、他様々なテーマでの研修に参加。施設内研修では法定研修の他にアサーションやリハビリに関するものなど年間計画を立てて様々な研修に参加。外部研修では重症心身障害者への支援や医療的ケアに関すること、発達に関することなど職員の希望に合わせて参加できるようにしている。
	11 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	○		支援プログラムは活動から5領域に対し期待できることなどを記載し、法人ホームページ及び施設内に掲示して公表している。
	12 個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	○		保護者から毎年アンケートをとり、生活面や発達面での希望をうかがって支援計画に反映している。また、日々の支援での様子をアセスメントし、それも支援計画に反映させている。
	13 放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○		支援計画は多職種で関わるスタッフが定期的にカンファレンスを行い、アセスメントや支援内容等はこどもに対し共通理解のもとで、そのこどもに最善な内容か検討している。
	14 放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○		定期的にカンファレンスをすることで計画内容を共有している。また、毎年保護者との面談を行い、要望や意見をじっくり言える時間を作ったり送迎時に情報共有できるようにしている。
	15 こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	○		アセスメントは事業所で統一して作成しているアセスメントシートに5領域の視点も加えて行っている。また、日々の記録も参考にアセスメントをしている。

適切な支援の提供

16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	○		支援計画はガイドラインにある必要な項目に沿って設定し、項目によるねらい及び支援内容も踏まえながらアセスメントをすることで一人一人にあった支援計画をたてるようにしている。また、定期的に計画を見直すことで支援内容が適切か判断している。
17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	○		ある程度は決めてあるが、放課後は疲れて体調を崩しやすい方もいるため当日の学校での様子や体調を参考にし、本人に選択してもらいながら決めている。
18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○		生活介護で行ったレクリエーションを放課後等デイサービスの利用者が楽しめるような工夫をして取り入れることでバリエーションが出るようにしている。
19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	○		発達状況や年齢にあわせて必要な個別活動、集団活動でのニーズや課題を支援計画に取り入れ、活動ではそれに合わせたアプローチをしている。
20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○		注意事項や急変時、体調不良時の対応についてなどを中心に事前に打ち合わせて、連携して安全な支援を提供できるようにしている。
21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○		支援終了時刻は遅く、送迎の職員のみになるため記録に残すことで速やかに共有できるようにしている。
22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○		活動面や生活面、医療面など詳細をSOAP記録で残すことでアセスメントや次のアプローチをどうするかなど記録者が客観的に考えることで支援につなげられるようにしている。
23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○		他職種のチームで定期的にモニタリングを行い、都度支援計画の内容が適切か判断し、必要に応じて見直しを行っている。
24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	○		「地域交流の活動」は平日に提供するの難しい為、行事の時に参加してもらうなどで交流できる場を設けている。
25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	○		こどもそれぞれが持つコミュニケーション方法を使って、生活や活動などの場面で選択肢を提示し、自己決定できる場面を多く作るようにしている。
26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○		サービス担当者会議などには児童発達支援管理責任者や可能な時は看護師も参加し、発達面と医療面で情報提供できるようにしている。
27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○		毎月地域の医療ケア児を受け入れている事業所間で集まり、情報交換や研修を行うことで日々の連携を取りやすくしている。
28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	○		情報共有は保護者を通して共有し、今年度からはスマホやパソコンを使ったツールで共有できるようになる予定。連絡調整は適切に行っている。
29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	○		自事業所内の児童発達支援を利用していた場合はスムーズに移行できるよう情報共有をし、それ以外の場合はサービス担当者会議の際に情報共有をしている。
30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	○		サービス担当者会議で情報提供をしている。
31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	○		日頃から療育センターとのやりとりを行うことで必要な時はスムーズに連携がとれている。また、困ったことがある時は相談している。
32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	○		医療ケアのある重症心身障害の方が利用対象で、支援学校の方を受け入れているため交流する機会を持っていない。
33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	○		協議会への参加はしていない。

関係機関や保護者との連携

	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○		連絡票、送迎時に相互に現状について共有し発達面、生活面、医療面について共通理解を持っている。
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。		○	自事業所では家族が参加する研修などは実施していない。
保護者への説明等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○		運営規定、利用負担は事務職員から説明し、支援プログラムはサービス管理責任者が主に説明を行っている。
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○		一年に一度、家族の意向をアンケートで取っている。本人の意向は重症心身障害児においては直接聞くことは難しいため、日々の関わりから得られる表出をもとにアセスメントをしっかりと行うようにしている。
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	○		支援計画は書面を示しながら説明し、保護者の同意を得て支援をしている。
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○		支援計画の面談時に困りごとに対して相談に応じたり、送迎時や連絡票で困りごとがある様子の時は電話などで相談に応じている。
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	○		医療ケアのある重症心身障害児は体調不良でお休みすることが多かったり、両親の就労や登録人数も少ないため、当日交流できる人数が集まるか不確定で保護者会はしばらくできていない。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○		相談窓口を決め、相談内容に応じて対応者を役割分担し保護者へも周知し、対応している。また、地域相談支援センターの担当者とも連携し速やかに対応できるようにしている。
	42	定期的な通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。		○	活動中の様子が分かるお便りなどは発行できていない。
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○		個人情報保護の規定に沿って支援をしている。
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○		利用しているこどもにはなじみのある言葉やおのまどべを多用したり、非言語コミュニケーション、本人が理解しやすい方法を探るようにしている。保護者へは送迎時や連絡票でこまめにやりとりをしている。
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	○		施設全体で行うお祭りでは、昨年度は入所と通所すべての家族が参加可能となった。また、施設として地域の子どもや家族に向けた行事を定期的で開催している。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○		各マニュアルは施設内で策定されたものや通所内で策定している。それぞれの委員や係が中心になって職員への周知や研修、訓練を行っている。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○		施設全体としてのBCPは作成されているが、まだ通所の細かい内容までは検討段階であるため早急に進めていく必要がある。避難訓練は定期的実施している。
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	○		利用登録時に当施設の外来受診で確認している。
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	○		現在利用していて経口摂取のお子さんに食物アレルギーのあるお子さんはいないが、注入のお子さんではいるため把握はしている
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○		利用者の送迎時や通所中の急変や胃瘻・気管カニューレの事故除去に対するマニュアルを作成し、研修を定期的実施している。
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	○		送迎中や通所中に問題が生じた場合はすぐに連絡が取れるように連絡先の交換を保護者と実施している。また連絡票ファイルに利用者の状態が分かるもの（病名、主治医、内服薬、アレルギー等）を作成し、救急搬送時に使用することを伝えている。

52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○	ヒヤリハットは書面に印刷し全員が確認できるようにしている。再発防止に向けては医療安全委員会の職員が中心に傾向や対策を定期的に検討している。
53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○	定期的に虐待防止に関する研修や、普段の支援を振り返る機会を施設全体で設けている。
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	○	身体拘束に関して施設全体でマニュアルを策定し、それに沿って組織的に決めている。また、実施前には理由や場所、時間などを説明し了解を得て、支援計画に記載している。

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 重症児・者福祉医療施設ソレイユ川崎

公表日 2026年4月14日

利用児童数 4

回収数 4

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1 こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	4	0	0	0		
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	4	0	0	0		
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	4	0	0	0		
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間になっていると思いますか。	4	0	0	0		
適切 な 支 援 の 提 供	5 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	4	0	0	0		
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	4	0	0	0		
	7 こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	4	0	0	0		
	8 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	4	0	0	0		
	9 放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	4	0	0	0		
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	4	0	0	0	面談等でお伝えしたことも実施してくださっています。	
	11 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	4	0	0	0		
保 護 者 へ の 説 明 等	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	4	0	0	0		
	13 「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	4	0	0	0		
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	4	0	0	0		
	15 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況について共通理解ができていると思いますか。	4	0	0	0		
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	4	0	0	0		
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	4	0	0	0		
	18 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	0	0	2	2		
19 こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	4	0	0	0			

	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	4	0	0	0		
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	4	0	0	0		
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	4	0	0	0		
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	4	0	0	0		
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	4	0	0	0		
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	4	0	0	0		
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	4	0	0	0		
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	4	0	0	0		
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	4	0	0	0	とっても楽しみにしています。	
	29	事業所の支援に満足していますか。	4	0	0	0	いつもありがとうございます。	